

# W32-CS1000A-RS

# コニカミノルタセンシング

## 分光放射輝度計

# CS-1000A

品番	接続方法	価格	動作環境
W32-CS1000A-RS	RS-232C	<b>95,000円</b>	Win2000/Xp/Vista Excel2000/02/03/07

使用できる機種 CS-1000A

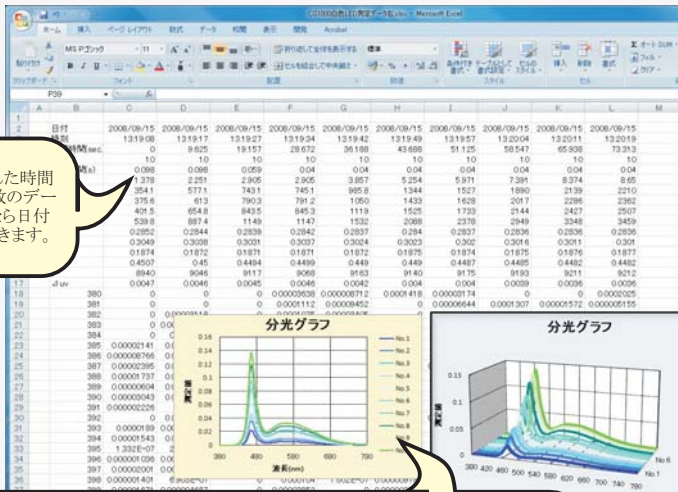
CS-1000Aは、コニカミノルタセンシング社の商標です。

### 機能



- ◆ データロガーとしての活用できます。  
指定された時間間隔で指定された回数のデータをリアルタイムにExcelシートに取込みます。輝度計が測定可能なすべての測定項目を同時に測定できます。最大200,000回、または、シート数が20を超えるまでデータを連続的に取り込むことができます。
- ◆ 分光輝度をリアルタイムにExcelシート上に作図することができます。  
分光輝度値を取り込む時、最大20回までは取り込むごとに分光特性を作図できます。20回を越えて分光輝度値を取り込むことはできませんが、作図は行いません。
- ◆ 輝度計の設定を本ソフトから行うことができます。  
波長ごとの分光補正係数や、三刺激値XYZの補正係数などの各種測定条件を本ソフトの画面から行うことができます。
- ◆ 連続モード以外に、スポット測定モードで、試料を取換えながら個々の測定が可能です。

### 概要



本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。測定条件を設定し「START」ボタンをクリックするとデータの取り込みを開始します。

スタートすると、指定された時間間隔で、指定された回数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することができます。

Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。  
※本アドインは、分光輝度値だけの自動グラフ作図機能がありますが、他に自動作図機能はありませんので、Excelのグラフウィザードを使用して作図してください。



### 操作説明

測定器からデータの取込を開始します。「PAUSE」を先に押してから「START」を押すとスポット測定モードになります。スポット測定モードでは、スタートボタンをクリックする毎に、測定値がExcelシートに入力されます。

データの取込を一時中止します。もう一度クリックすると、取込を再開します。スポット測定モードでは、このボタンは無効になります。

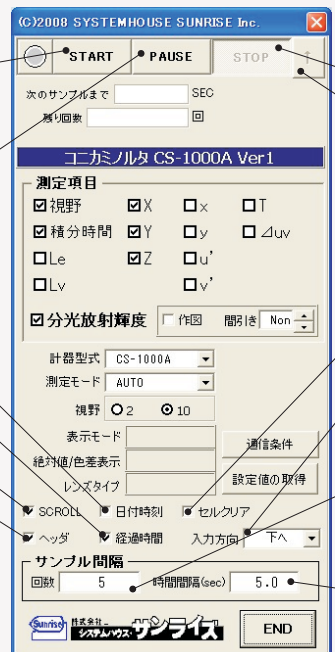
日付時刻の入力をおこないます。

測定開始からの経過時間を入力します。

測定データの入力に伴い、シートを自動スクロールします。

測定データの項目名を最初の行に入力します。

注)本ソフトでは、測定開始時に輝度計に対して、測定条件の設定はなにも行いません。必要な測定条件は「輝度計への設定実行」ボタンで、事前に設定しておいてください。



データの取込を停止します。

「スポット測定モード」の場合、再測定のために、最後に測定したデータを1つ削除します。「スポット測定モード」の測定は、「PAUSE」ボタンを最初に押し、その後「START」ボタンを押します。

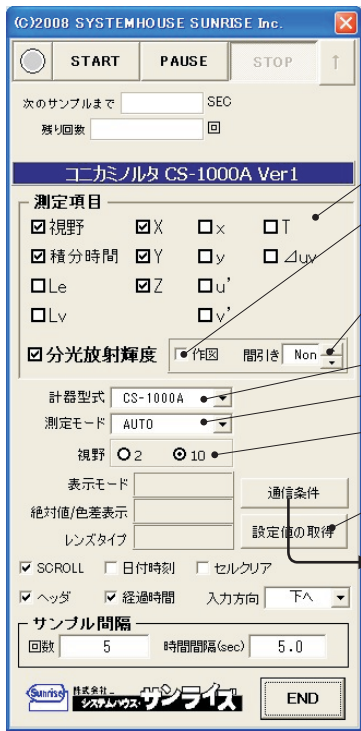
シートの書式をクリアしながらデータを入力します。

測定データの入力方向を切り替えます。分光輝度値を取り込む場合、Excel2003以前のバージョンでは、下方向を選択するとすべての分光輝度値が入力できないためエラーとなります。この場合、間引きを選択します。

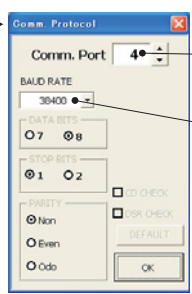
最大200,000回まで指定できます。シートの下端、または、右端に到達すると、次のシートに自動的に移動します。シートがない場合は、作成されます。シート数が20シート以上になると測定が終了します。

測定の時間間隔を入力します。最大は、65,000秒です。測定に必要な時間より短い時間間隔を入力すると、時間間隔は守られません。

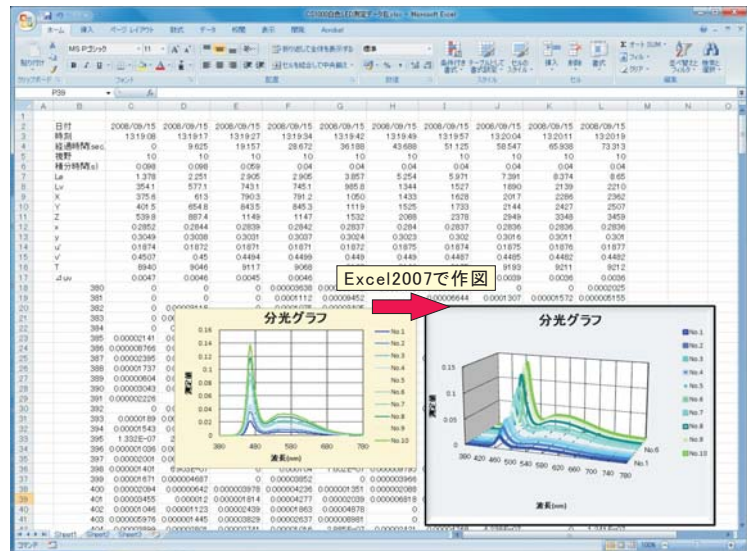
ここで選択した「速度モード」と「視野」は、測定開始時に、輝度計に自動的に設定されます。



- 測定項目を選択します。
- 分光放射輝度の自動作図を行なう場合にチェックを付けます。
- 分光放射輝度データをExcelシートへ入力するときの間の引き数を設定します。間引きを「1」に設定すると、分光データは、380,382,384,386,...となります。
- 輝度計の型式を選択します。「CS-1000A」
- 度モードを選択します。「AUTO」「INT.」「EXT.」「MAN.」
- 視野を選択します。
- 輝度計に設定されている条件を読み込み、この画面に表示します。輝度計との通信試験の代用としても使用します。



- 輝度計を接続したRS-232Cのポート番号を指定します。通信条件は、ポート番号とボーレートだけが変更可能です。他の条件は固定されています。
- ボーレートを選択します。



## パソコンとの接続に付いて

パソコンと輝度計を接続するためには輝度計付属のRS232Cケーブルを使用します。もしパソコンにRS232Cポートの空きがない、または、ノートパソコンにRS232Cポートが装備されていない場合、パソコンのUSBポートをRS232Cに変換して、RS232Cポートに接続します。「USB-RS232C変換器」は、ユーザ側で市販のものをご用意ください。本商品には含まれておりません。当社では、下記の「USB-RS232C変換器」で動作確認をしております。また、各変換器に付属するインストールガイドに従って変換器のドライバを適切にインストールしてください。正常にインストールした後、その時に割り当てられたポート番号を確認し、上記の「通信条件の設定」のRS232Cポートに、その番号を設定します。



市販のUSB-RS232C変換ケーブル例  
 製造会社 ラトックシステム株式会社  
 製品名 USB-シリアルコンバータ  
 品番 REX-USB60F  
 価格 5,800円